

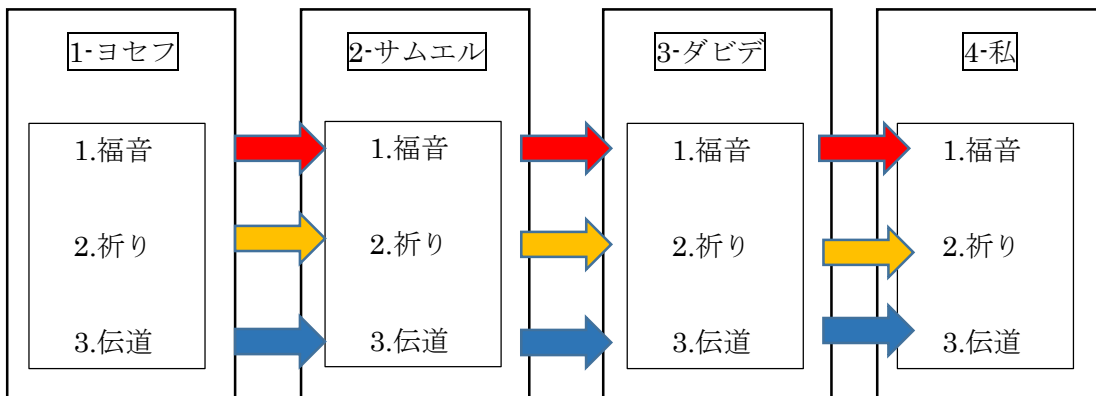
## 聖書の人物と私の人生のロードマップ

### ▲学習目標

- 1.根本問題と答えであるキリストを知ります(問題と解答)
  - 2.ひとりである時間に祈りで力を得る奥義を知ります(勉強と祈り)
  - 3.私を災い時代を生かす伝道弟子として呼ばれたことを知ります(明日と挑戦)
- (※ 2015年 Remnant 働き人および教師セミナーのメッセージを参考にしてください)

### ▲内容

- 1 課、2 課、3 課の内容は福音、祈り、伝道の同じ構造で構成されています。



最後の4課では

- 1.ヨセフ、サムエル、ダビデが持った福音を私も持っているのか確認します。(福音)
- 2.ヨセフ、サムエル、ダビデが持った祈りの奥義を私も持っているのか確認して、  
ないならば、どのように祈りを味わうのかフォーラムします。(祈り)
- 3.ヨセフ、サムエル、ダビデが災い時代を生かすために選ばれた伝道弟子だったように  
私もこの災い時代を生かす者として呼ばれたことを確認します。(伝道)

全体的な絵を持って1,2,3課を進行してください。

分級資料完成の写真→



## ▲細部内容

### ◎第1課(ヨセフ)

#### 1.福音を伝えてもらったヨセフ(1-1)

(1)ヨセフはお父さんヤコブから福音を伝えてもらいました

(2)神様がくださった夢を見ました。

①太陽と月と星より高い神の子どもの身分である自分のアイデンティティを知りました。

②世界を生かす伝道者になることを知りました。

(3)伝えてもらった福音の内容

①すべての人は神様を離れて幸せではありません。

②罪人でのろい、災い、苦しみの中で生きています。

③サタンに捕まって、苦しんで地獄に行くようになります。

④これらすべての問題を解決するためにイエス・キリストが来てくださいました。

(※エジプトの偶像文化を通して、多くの人が神様を離れてサタンに仕える罪を犯していました)

#### 2.問題との中で祈りを味わったヨセフ(1-2,1-3,1-4)

(1)お兄さんにねたまれて穴に投げ込まれて死ぬところだったのですが、エジプトに売られていくようになりました。(※家庭問題によって試みにあいませんでした)

(2)エジプトで苦しい奴隷生活の中でも神様がともにおられることを味わいました。

(3)くやしい濡れ衣を着せられて監獄に行ったときも、神様とともにいることを味わいました。

#### 3.総理になったヨセフ(1-5)

(1)すべての問題のように見える事件を通して神様は総理になるようにされました。

(2)日照りになって、災いがきたときに、家系と世界を生かしました。

(3)米を売って全世界に福音を伝えました。

→分級ワーク

1.[1-1]の聖書を子どもたちといっしょに読みながらみことばを覚えます。

2.[1-1]の紙を切り取って、のりをつけて、ロードマップの紙の[1-1]の原案にのりをつけて立てます。

3.[1-2]の聖書を読みながら、みことばを覚えて、それに合う絵を切り取って[1-2]の○の中にのりつけしてはります。

4.同じ方法で[1-3],[1-4]を進行します。

5.[1-1]と同じ方法で[1-5]を進行します。

※学年により聖書箇所をさらに拡張して読んだり、何節かだけ選んで短く読んだりしてください。

◎第2課(サムエル)

1.福音を伝えてもらったサムエル(2-1)

(1)サムエルはお母さんのハンナから福音を伝えてもらいました。

(2)ナジル人の契約を伝えてもらいました。

①ナジル人は、神様の働きに全面的に用いられるために「区別された者」という意味です。

②礼拝もささげて、祭りも守っていたのですが、本当に重要な福音の核心は抜けて形式だけ残っていた時代でした。

(3)伝えてもらった福音の内容

①すべての人は神様を離れて幸せではありません。

②罪人として呪い、災い、苦しみの中で生きます。

③サタンに捕まって苦しめられて地獄に行くことになります。

④これらすべての問題を解決するために、イエス・キリストが来られました。

(※ペリシテの偶像文化を通して多くの人が神様を離れて、自分たちの思うとおりに生きながら、サタンに仕える罪を犯していました)

2.礼拝と祈りを味わったサムエル(2-2,2-3,2-4)

(1)乳離れしてすぐに、家族から離れて教会で訓練を受けました。

(2)毎日、神殿で神様のみことば聞いて、礼拝して、祈りました。

ひとりでも神様の御声を聞きました。

(3)礼拝に失敗して罪を犯している祭司を見ながらも、試みにあいませんでした。

かえって神様の前に立って礼拝に成功しました。

(※教会問題によって試みにあいませんでした。)

3.ミツパ運動をしたサムエル(2-5)

(1)神様を離れて偶像崇拝をしていたイスラエルをミツパに集めて悔い改める運動をしました。

(2)ペリシテの攻撃から神様が守ってくださいました。

サムエルが生きている間、戦争が止まりました。

(3)ダビデのような弟子を残しました。

→分級ワークは1課と同じように進行すれば良いです。

## ◎第3課(ダビデ)

### 1.福音を伝えてもらったダビデ(3-1)

- (1)ダビデはお父さんのエッサイとサムエルから福音を伝えてもらいました。
- (2)神殿建築の契約を伝えてもらいました。
  - ①契約の箱の奥義と、契約の箱を置く神殿がないという話を聞きました。
  - ②福音なく、自分の思いどおりに生きて災いにあっているイスラエルの歴史の話を聞きました。
  - ③未来に世界を生かすイスラエルの王になるという話を聞きました。
- (3)伝えてもらった福音の内容
  - ①すべての人は神様を離れて幸せではありません。
  - ②罪人として呪い、災い、苦しみの中で生きます。
  - ③サタンに捕まって苦しめられて地獄に行くことになります。
  - ④これらすべての問題を解決するために、イエス・キリストが来られました。(※ペリシテの偶像文化を通して多くの人が神様を離れて、サタンに仕える罪を犯していました)

### 2.賛美と祈りを味わったダビデ(3-2,3-3,3-4)

- (1)ひとりである時間に羊の世話をしながら、みことばを黙想して詩を作りました。
- (2)ひとりである時間に賛美の奥義を味わいました。

サウル王についての悪霊が離れるほど賛美を味わいました。

(※世の中の問題によって試みに会いませんでした)
- (3)ひとりである時間に神様がまかされた羊の世話することに最善を尽くしました。

### 3.ゴリヤテを倒したダビデ(3-5)

- (1) 神様の御名をあざけるペリシテと、ペリシテの將軍ゴリヤテにほろぼされるようになる災いにあいました。
- (2)主の御名によってゴリヤテを倒して、イスラエルを生かすようになりました。
- (3)このことによって、世の中が主の御名を知るようになりました。

→分級ワークは1課と同じように進行すれば良いです。

## ◎第4課(私)

### 1.福音を伝えてもらった私(4-1)

- (1)私は誰から契約を伝えてもらいましたか
- (2)ヨセフ、ダビデ、サムエル時代に多くの人が神様を知らずに偶像崇拝の罪を犯して災いにあっていたように、この時代も全く同じです。
- (3)伝えてもらった福音の内容
  - ①すべての人は神様を離れて幸せではありません。
  - ②罪人として呪い、災い、苦しみの中で生きます。
  - ③サタンに捕まって苦しめられて地獄に行くことになります。
  - ④これらすべての問題を解決するために、イエス・キリストが来られました

### 2.みことば、祈り、賛美を味わう私(4-2,4-3,4-4)

- (1)私はヨセフのように、問題、事件の中で、不平、不満、落胆せずに神様に祈りますか
  - (2)私はサムエルのように、礼拝に成功して神様のみことばを黙想していますか
  - (3)私はダビデのように、霊的な奥義を知って賛美して、今、まかせられたことに最善を尽くしていますか
- (※もしかして、家庭、教会、世の中で試みにあうことがありますか)

### 3.災い時代を生かす私(4-5)

- (1)神様が、災いにあっていた時にヨセフ、サムエル、ダビデを選んで準備されたように、私を選びました。
- (2)私を通して神様が生きておられることがあかしされるでしょう。
- (3)弱くて、足りなくても、全能なる神様が私とともにおられます!

→分級ワーク

- 1.[4-1]私に福音を伝えてくれた人を名前を書いたり絵で表現します。
- 2.[4-2],[4-3],[4-4]には私の普段の祈り、賛美、みことば黙想、礼拝習慣があるならば、している伝道者のルールを文や絵で表現します。  
ないならば、これからどんな伝道者のルールを持つのかフォーラムと文や絵で表現します。
- 3.[4-5]これから私が時代の災いを生かす姿を描いてみましょう。  
特別なタラントを探したり、これからなりたいものがあるならば、その姿に合うように表現してみましょう。